●各議員のQRコードを読み取ると、その議員の一般質問の様子が視聴できます。

一般質問 Q&A

鳥飼（とりかい） 由衣（ゆい） 議員
政志会

質問の様子はこちら！

母子手帳アプリの利用促進を

Q 本市が導入している母子手帳アプリ「母子モ」の周知方法とさらなる利用促進のための取組を伺う。

A 本市の母子手帳アプリは予防接種や発育の記録のほか、妊娠・出産・子育ての情報提供、地域のお知らせやビデオ通話での相談機能などがあり、妊娠届出の際、全員にお知らせするなど利用促進を図っています。

また、妊娠8か月の方や赤ちゃん訪問時にも再度利用案内しており、今後も、あらゆる機会を捉え活用を促していきます。

（健康福祉部長）

海上花火大会の評価

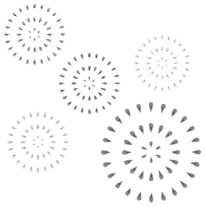
Q 第58回さかいで大橋まつり海上花火大会は予想を上回る観客動員数であったが、全体的にどのように評価しているのか。

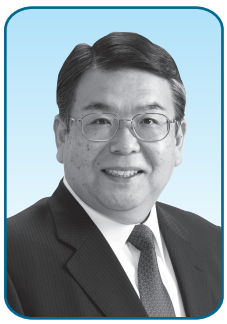
A 今回の花火大会は、中四国最大級の打ち上げ数であり、チラシやSNS等、各媒体を通してのPRが効果的に行われ、10万人の方にご来場いただきましたが、大きな事故もなく無事開催できました。

また、初の試みである花火とレーザーと音楽とのコラボレーションは大変好評をいただき、フィナーレでの尺玉の連発は圧巻で、ひときわ大きな歓声・拍手が起こるなど、瀬戸大橋開通35周年記念にふさわしい大会となりました。終了後もSNSで好意的な発信が多数あり、にぎわい創出に大きく寄与したものと評価しています。

（市長）

質問の主な項目
- 育児用品のリユースについて
- 外国籍の子供に対する就学支援について





若杉（わかすぎ） 輝久（てるひさ） 議員
公明党議員会

質問の様子はこちら！

消防職員定数の増加の可能性は

Q 定員管理の考え方は。

A 昨年からの救急出動件数の大幅な増加など、限られた人員での業務遂行は大変厳しい状況です。消防職員がその職責を果たすには、万全な体調管理が重要であり、他市の状況も参考に検討が必要であると考えます。

（消防長）

Q 災害等に備え消防力の強化は重要である。定数増の考えは。

A 定年延長の段階的な引き上げに伴い新陳代謝が後退することに加え、働き方改革の観点からも消防本部の定数拡充に関して課題があると認識しています。

（市長）

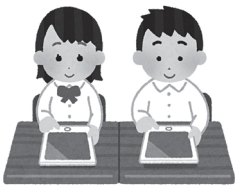
AIの活用について児童・生徒に指導を

Q 児童・生徒が生成AIに触れ、その仕組みや活用方法、メリット・デメリットを学ぶ機会を早急に設けてはどうか。

A 生成AIの指導において、虚偽の情報、偏りを見抜く力や個別の情報に対する判断力の向上を図るなど情報リテラシーとAIリテラシーを高めることが必要です。

現在、教育研究所において、児童生徒がデジタル社会の一員として、より良い資質・能力を身につけるためのデジタル・シティズンシップ教育の実践研究に取り組んでいます。

今後は、生成AIを含め、AIの教育分野での活用について、国や県の動向に注視しながら対応していきます。

（教育長）

質問の主な項目
- 福祉避難所について